

高等教育活性化シリーズ 385 (通算 716 回)

2019 年 3 月 26 日 (火)

教員教育と学生履修を結ぶ

学修成果可視化の取組みと実際 II

～ 可視化の方法・ツール/社会への発信・共有/4 ポリシーの実働化 ～

- ※ [東京都市大] 学修成果可視化の仕組み/PBL 科目/卒業研究ルーブリック/ディプロマサプリメント
- ※ [大阪市立大] 総合活用スキームによる学修成果と質保証/全学学生調査と OCU 指標/総合活用
- ※ 学修成果の可視化システム取組み 10 年～今思うこと/陰翳礼賛/過猶不及/反転攻勢/よい加減
- ※ [宇都宮大] 能動的学修の環境整備と実践/学修到達度可視化システムの開発/チェックリスト

● 講師陣 ●

- 皆川 勝 氏 / 東京都市大学 副学長 教育開発機構長
 西垣 順子 氏 / (公) 大阪市立大学 大学教育研究センター 准教授
 半田 智久 氏 / (国) お茶の水女子大学
 教学 I R・教育開発・学修支援センター 教授
 石井 和也 氏 / (国) 宇都宮大学 大学教育推進機構 基盤教育センター 特任助教

2019 年 3 月 26 日 (火) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

地域科学研究会
高等教育情報センター

日時: 2019 年 3 月 26 日 (火) 10:00 ~ 16:50

会場: 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)
千代田区紀尾井町 3-27 TEL 03-3234-7362

アクセス: 東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より
徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷
駅」麹町口より徒歩 10 分

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

- 参加費: A. ご一名 (資料代込) 42,000 円 (税込)
 B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付) 43,000 円 (送料、税込)
 C. 高等教育同人 (☆) 22,000 円 (税込)

- ※ メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、開催後に当日配布資料及び音声 CD を送付します。
- ※ なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。
- ※ 参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ、
FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法: 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
三菱 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
郵便振替 00110-8-81660

口座名 < (株) 地域科学研究会 >

※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター
東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
Tel: 03 (3234) 1231 Fax: 03 (3234) 4993 〒102-0082

E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

HP: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 385

学修成果可視化の取組みと実際 II

年 月 日

- (□に✓印を)
- 当日参加 □ メディア参加
 支払方法 □ 郵便振替 □ 当日払い □ 銀行振込
 必要書類 □ 請求書 □ 見積書 □ 領収書

勤務先 _____

所在地 〒 _____

(書類宛名 _____)

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____ FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 ｝ 11:20	<p>□ [東京都市大] 学修成果可視化の仕組み構築と実際 ～ ディプロマサブリメントの開発と教育改革の取組み ～</p> <p style="text-align: right;">東京都市大学 皆川 勝</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 東京都市大学の教育改革の概要 2. 持続可能な開発に関する PBL 科目の設計 3. 卒業研究ルーブリックと学修成果の可視化 4. ディプロマサブリメントシステムの開発 <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
11:30 ｝ 13:00	<p>□ [大阪市立大] 「総合活用スキーム」を通じた学修成果の質保証と向上の取組み ～ 全学学生調査／多様な学習成果の把握可能な「OCU 指標」の設計・構築 ～</p> <p style="text-align: right;">(公) 大阪市立大学 西垣 順子</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大阪市立大学および AP 事業の概要 <ol style="list-style-type: none"> (1) 大阪市立大学の概要と歴史 (2) AP 事業の概要 (3) 前史 (1) 教育の評価に関わる取組 (経済学部 PE 指標／論文採点基準表／大学教育研究センターによる教育に関する各種調査) (4) 前史 (2) 「教育改善・FD 宣言」に基づく草の根 FD の展開 2. 全学レベルでの学生調査と OCU 指標 <ol style="list-style-type: none"> (1) 大阪市立大学の教育評価ポリシーと教育評価計画 (2) OCU 指標とは (3) 学生調査 (1 年生調査、上級生調査) (4) 教員調査・院生調査 3. 総合的活用スキーム <ol style="list-style-type: none"> (1) ラーニングセンターの設置 (2) TA、SA による企画など (3) インタビュー調査 (4) 対話、「学びの共同体」としての大学教育 <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
14:00 ｝ 15:20	<p>□ 修学の成果可視化がもたらすものごとを考える ～ 可視化システム取組十年、そして今思うこと／陰翳礼讃／過猶不及 ～</p> <p style="text-align: right;">(国) お茶の水女子大学 半田 智久</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. あまりにいいかげんは、やはりいかんでしょう <ol style="list-style-type: none"> (1) 電子テクノロジーに後押しされて・ピクセル光源の魔力・インフォグラフィックス (2) 覚悟はよろしかったですか? 学修成果:機能する GPA-alagin・インタラクティブな授業成果-nigala 2. 反転攻勢: 乗り超えろ! <ol style="list-style-type: none"> (1) 大学の教学ポリシーはこれだ。で君らは主体的に何をどう学ぶのか。 (2) 学習成果-super alagin LS portfolio (3) いまの学生は何を求め、満たされているのか-修学行動比較-ALCS 3. 光と影-図と地、apparent な表象の彼方 - よい加減のほうへ <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:30 ｝ 16:50	<p>□ [宇都宮大] 能動的学修の実践と成果の可視化 ～ アクティブラーニング環境の整備／学修到達度可視化システムの開発 ～</p> <p style="text-align: right;">(国) 宇都宮大学 石井 和也</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブラーニングの深化と拡充に向けた取組み <ol style="list-style-type: none"> (1) 取組みの目的 (2) アクティブラーニング型授業を実践する際のハードルを下げる (3) ラーニング・コモンズの整備と活用 (4) 宇都宮大学におけるアクティブラーニングの現状と課題 2. 学修到達度可視化システムの開発と普及のための取組み <ol style="list-style-type: none"> (1) 取組みの目的 (2) 宇都宮大学の学修到達度可視化システム (3) 汎用的能力可視化システム「3C 到達度チェックシート」開発の経緯 (4) 「3C 到達度チェックシート」の活用状況 (5) 学生にとって意味のある可視化システムに向けて 3. まとめ: 宇都宮大学における能動的学修と学修成果とは <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>